

## 2018年度 介護を快護へプロジェクト — ポジティブ進捗報告 —

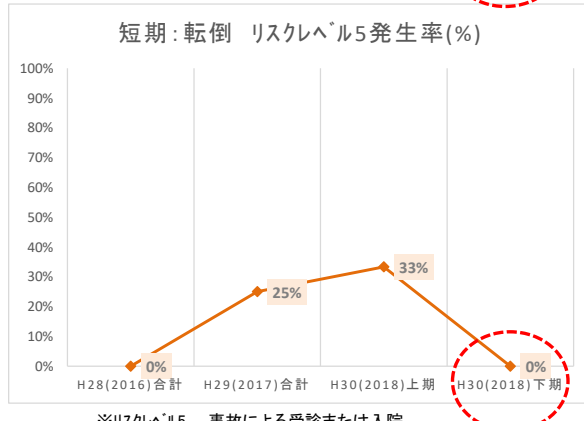
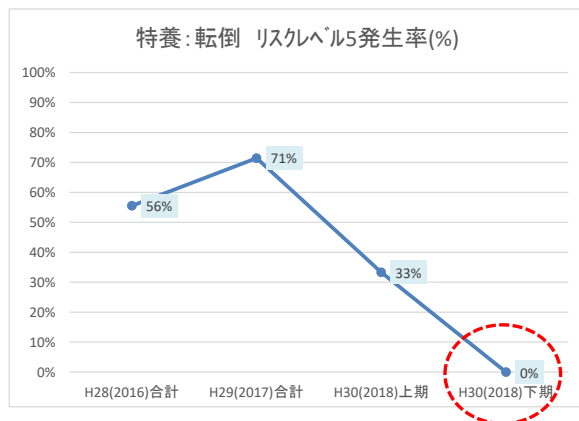
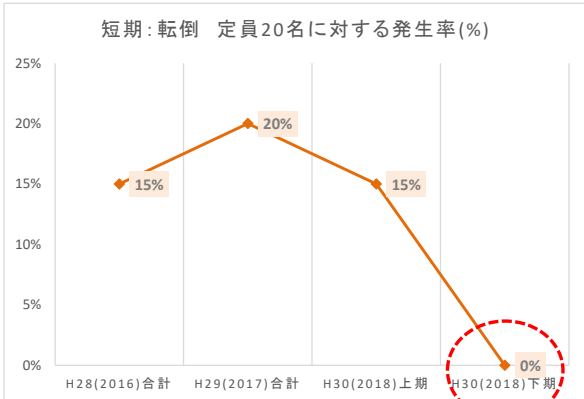
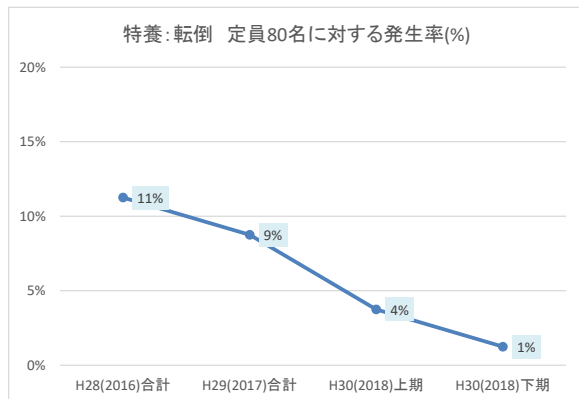
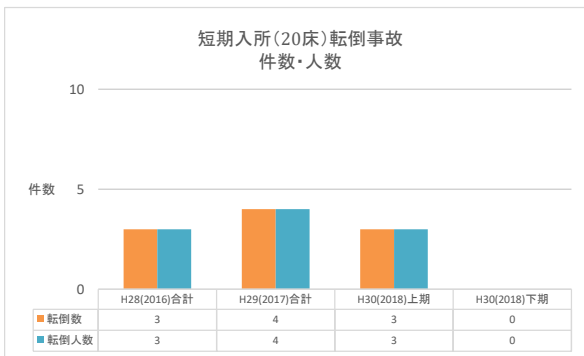
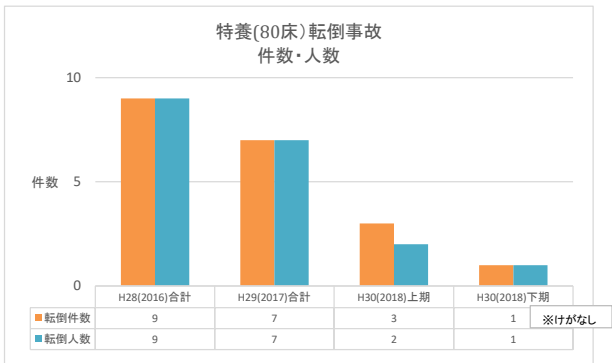
重要課題である「転倒」に関わる分析です。

ヒト × モノの施策で事故ゼロを目指しています。

※当法人は2004年から身体拘束ゼロに取り組み、現在もゼロで運営しています。

**\* 2018年度 特養の特徴**  
 4月より **夜間帯 転倒ゼロ**  
 7月より 転倒 リスクレベル 5 **ゼロ**

**\* 2018年度 短期入所の特徴**  
 10月より **日勤帯・夜間帯 転倒ゼロ**  
 ほかの事故 **ALL ゼロ**



※リスクレベル5 事故による受診または入院

### ● 考 察 ●

- \* **特養** : 短期入所よりも平均介護度 (+0.5~0.7) が高いため、**発生頻度**は低いが発生時の危険度 (リスクレベル5) が高い。
- \* **短期** : 特養よりも自立度が高いため、**発生頻度**は高いが日頃から動きがあるため予測余地がある。
- \* **今後の展開** : 人 (注意観察+判断) ×最新機器 (センサー+測定) の融合で事故ゼロの成功ケースを蓄積させ無形と有形の価値を高めていく。